

学校運営協議会(定時制部会)議事録

校名	府立大手前高等学校
准校長名	榊井 則子

開催日時	令和3年2月12日(金)書面開催
開催方法	書面開催ののち、各委員に准校長が意見聴取した。
委員	前会長 原田委員 浅田委員 堀委員 平田委員 高木委員
事務局(学校)	榊井准校長 山本教頭 矢野首席(兼教務部長) 神原生徒指導部長 浦野進路指導部長 坂本第1学年主任 奥田第2学年主任 川端第3学年主任 比嘉第4学年主任
傍聴者	なし
資料	令和2年度学校経営計画及び学校評価案、令和3年度学校経営計画及び学校評価案、全日制令和3年度学校経営計画及び学校評価案、学校教育自己診断、後期授業アンケート結果

議題等(次第順)

- ①令和2年度学校経営計画及び学校評価案、令和3年度学校経営計画及び学校評価案
- ②全日制令和3年度学校経営計画及び学校評価案
- ③学校教育自己診断
- ④後期授業アンケート結果、経年変化

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ①令和2年度学校経営計画及び学校評価案、令和3年度学校経営計画及び学校評価案

〈令和2年度評価について〉⇒承認された。

- ・生徒支援の体制について、高い評価を得ており、「大手前高校定時制のつよみ」となっていることがわかる。
- ・生徒と保護者の学校教育評価が昨年並みであることは、よいことだ。先生方は、COVID-19対応で忙しくてしんどかったことと思う。先生のがんばりを評価してねぎらってください。
- ・やはりCOVID-19の影響があるので、もう一年様子を見る。

〈令和3年度学校経営計画について〉⇒承認された。

- ・COVID-19は2～3年間にわたって影響を及ぼすだろうと考えたとき、4年間の定時制高校生活でその大部分にCOVID-19の影響があることになる。COVID-19を前提とした新しい学校のあり方、行事や授業を考えてほしい。
- ・Webの活用を勧める。やってみたらよかったということがあるので、うまくいかなかった所は、後から改善すればいい。
- ・入学前の情報収集をスクールソーシャルワーカーと共に行ってはどうか。
- ・社会の中の自分を理解するのが人権教育、そのうえでキャリア教育として自分が大切に生きる生き方で進路を拓くことをめざす。学校経営計画の3「キャリア教育と人権教育の充実」にあるように連携して行われるものである。
- ・学校ホームページをもっと充実させる。回数よりも質を考える。たとえば校内の出来事の発信などが効果的だ。

- ②全日制令和3年度学校経営計画及び学校評価案 ⇒承認された。

- ③学校教育自己診断

- ・ベテランの先生が定年で退職されるなど、世代交代があり、若い先生が増える中、若い先生への支援を厚くする必要はある。
- ・アンケートの数値は職員数が少ないため数人で値が変化する。高低に一喜一憂することよりも継続的に取り組みを進めること。
- ・(生徒)本人が楽しそうに学校に行ってます。
- ・生徒がどんな姿で卒業してほしいのか、「めざす学校像」に照らして、各学年に語ってもらおうとよい。
- ・教職員の育成に関しても各自に3年先、5年先のビジョンを語ってもらおうとよい。

- ④後期授業アンケート結果、経年変化

- ・すべての問いの回答の平均が3.38(84.5%の肯定率)との集計結果がでており、授業に対する取り組みについて肯定的にとらえている生徒が多い。
- ・令和2年度前期に比べると、後期は、授業アンケートに対する全体の意識(すべての問いの回答の平均値)がやや上昇している。

次回の会議日程

日時	令和3年 7月 2日(金)15:00～
会場	大手前高等学校 1階 大会議室